組合ニュース

第１５１６１号
２０１８年３月８日(木)
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555
組　合　Ｈ　Ｐ　http://nssmwu.jp/

第７回中央委員会報告

【日時】2 月 27 日（火）
8 時 30 分～10 時 5 分
【出欠】出席 79 名　欠席 14 名　出席率 85%
【議長】栗本氏

Ⅰ　報告事項

1. 上部団体会議報告
   ・第 9 回中央執行委員会
   ・第 10 回中央執行委員会
   ・中央労使協議報告
2. 2018 年度第 2／四半期決算報告
   並びに会計監査報告について
3. 箇所労使協議報告
   ・2018 年度和歌山製鐵所の
   基準休日・年休奨励日について
   ・中央整備機能の直営化について(その 2)
   ・日鉄住金テックスエンジ株式会社への
   教育出向について
   ・3 月度生産計画について
4. 新日鐵住金健保組合
   第 2 回理事会・第 2 回組合会報告
5. 年末年始安全強化活動結果報告
6. 「書き損じハガキの回収活動」取組み
   結果報告
7. 新日鐵住金労連「第 6 回中央委員会」報告
8. 基幹労連「第 15 回中央委員会」報告
9. 支部長安全研修会開催について
10. 3 月度日程について

Ⅱ　審議事項

1. 2017 年度 3／四期合理化案件への
   対処方針に関する件（案）
2. 2017 年度 4／四期合理化案件への
   対処方針に関する件（案）
3. 基幹労連「第 8 回海外ユースセミナー」へ
   の対応に関する件（案）

◆組合学校を開催



【片桐室長】

去る、2 月 10 日（土）社員倶楽部 2 階多目的ホールにて、支部機関役員 152 名参加のもと 2018 年度「組合学校」を開催しました。

開会冒頭、当労組の教育推進本部長である谷路副組合長より「本日の組合学校では、会社の経営状況について、ＡＰ18 春季取組みについて、産業政策・政策制度・生活諸課題についての講義があり機関役員の皆様には、しっかりと認識を共有していただきたい」との挨拶があり、続いて新日鐵住金労連の本部執行役員である、当労組の中出特別執行委員より「今次ＡＰ18 春季取組みの要求は組合が要求書を提出したのではなく、皆さんの総意で要求書を提出したという事を認識していただきたい。また、和歌山労組としても支部の皆さんで一致団結し盛り上げを図っていただきますようお願いします」と挨拶がありました。



【岸本衆議院議員】

続いて、労政人事室の片桐室長を講師としてお招きし「会社の経営状況について」と題して「2017 年度 3Q 実績・通期見通し」「2018 年当所の課題および取組み」の 2 点についてご説明を受けました。

次に、中濱書記長から「ＡＰ18 春季取組みについて」新日鐵住金労連、連合、経団連の春季交渉に関する資料を用いて、労使それぞれの考え方についての説明を受けました。

最後に、基幹労連の国政フォーラム幹事長でもあります、岸本周平衆議院議員を講師としてお招きし、「産業政策・政策制度・生活諸課題について」をテーマにご講義をいただきました。また、参加者からは講義の内容に対して数多くの質問が出され、講師の方々からは丁寧なご回答をいただきました。

今後もこのような教育･研修活動を通じ、組合役員としての意識向上とレベルアップを目指して参ります。



◆スノーフェスティバルを開催

去る、2 月 16 日（金）～2 月 18 日（日）にかけて、長野県志賀高原スキー場において青年女性部主催の「スノーフェスティバル」を開催しました。

今回は、4 年ぶりの宿泊バスツアーということで、三地区（和歌山・堺・海南）から 34 名の方が参加されました。

初日は、車中泊での移動の為、参加者の皆さんは少し疲れの色も見えていましたが、現地に到着し、ゲレンデを見た途端、疲れなど忘れたように、各々スキー・スノーボードを楽しまれていました。

また、ホテルでの夕食の際にも、普段交流する機会の少ない組合員と親睦を深めることができ、終始盛り上がりをみせていました。

帰りの車内では、「宿泊のツアーなので存分に楽しめた」「参加費が安く参加しやすかった」等の意見が寄せられました。

今後も青年女性部では、組合員が気軽に参加できる行事を企画し、横の繋がりを広げる活動を展開して参ります。



◆ＮＳＧＲ和歌山ブロック 2018 年春季交渉学習会

去る、2 月 23 日（金）16 時 00 分より組合会館 2 階大会議室において 52 名が参加のもとＮＳＧＲ和歌山ブロック主催の「2018 年春季交渉学習会」を開催しました。



【福島事務局長】

本研修会は、本部から役員をお招きし我々の取巻く情勢や 2018 年春季取組みにおける交渉状況などの情報の共有化を目的に毎年開催されています。



【山本代表】

冒頭、和歌山ブロック山本代表より挨拶があり「各構成組織におかれましては、鉄鋼産業の取巻く状況や、上部団体のＡＰに対する考え方等をしっかり学んでいただき今後の交渉に生かしていただきたい」と述べられました。



続いて、ＮＳＧＲ本部の福島事務局長（新日鐵住金労連副会長）を講師としてお招きし「新日鐵住金グループを取巻く環境」「今次ＡＰ18 春季取組みについて」の大きく 2 点についてご

説明され、参加者からの質問に対しても丁寧な説明がありました。
当労組は今後もＮＳＧＲ和歌山ブロックの加盟組合としての責任を果たすべく、今次春季取組みにおける最大限の協力・支援を行ってまいりますので、組合員皆様のご協力をお願い致します。

◆定例議員懇談会を開催

去る、2 月 26 日（月）組合会館にて和歌山労組の推薦議員団（和歌山県議会　浦口・長坂議員、和歌山市議会　寒川議員、岩出市議会　吉本議員、堺市議会　木畑議員）から近況報告を受け、認識を合わせるとともに生活総点検で出された意見・要望を提起すること目的に「定例議員懇談会」を開催しました。
冒頭、山本組合長より「組合員の皆様に、県政・市政に対する理解を深める為にも我々が推薦している議員団のご活躍を職場に伝えることが重要であり、また職場で出された意見を議員の皆様にお伝えし、改善に繋がるように今回の懇談会を有意義なものにしたい」と挨拶が述べられ、続いて中濱書記長より「第 51 期の役員体制」「組合の近況」についての報告がありました。
次に、各議員より県政・市政について主要な事業や、現在各県・市の抱えている問題についての報告があり最後に、和歌山労組より全組合員を対象に実施した「生活総点検活動」で出された意見や要望等を提起し内容をご確認いただき、各議員からは前向きな回答をいただきました。
今後も、労働組合として推薦議員団との連携を密にとり、様々な側面から組合員の生活を支える活動を展開して参ります。



◆ＡＰ１８春季取組み　箇所長へ申入れ書を提出

去る、3 月 1 日（木）和歌山製鐵所に対し「労働協約と付帯する協定の改訂に関する申入れ書」「２０１８年度労働条件改善に関する要請書」「２０１８年安全衛生対策に関する要請書」を提出しました。
この申入れ行動は、中央交渉を支える観点から、今次要求に込めた組合員の思いを述べ和歌山製鐵所としての可能な限りの対応を要請するものです。
はじめに、山本組合長より申入れ書を山寺所長に手渡し、読み上げた後「今次要求項目である月例賃金の改善と６５歳現役社会の実現に向けた労働環境の構築は、組合員のモチベーション、モラールの維持・向上とさらなる活力の発揮に繋がります。また取巻く環境や職場実態等を見極め、新日鐵住金を取巻く環境の厳しさを十分に認識したうえでのミニマム要求であり、今次要求に対する思いを受け止めていただき誠意ある回答が示されるよう、積極的な対応をお願いします」と述べられました。



【山寺所長（左）に申入れを提出する山本組合長（右）】

続いて、山寺所長より「当社の収益状況は前年に対し増益であるものの、在庫評価差等の一過性要因、グループ会社の収益拡大を除くと減益という大変厳しい状況でありますが、本日いただいた今次要求に対する組合員の思いを和歌山製鐵所として受け止め、全社で真摯に議論します」との見解が述べられました。
今回の春季取組みにおいても、納得のできる回答を目指し中央交渉を支える観点から、各支部での更なる盛り上げを活動をお願いします。

◆ＡＰ18 春季取組み決起集会を開催



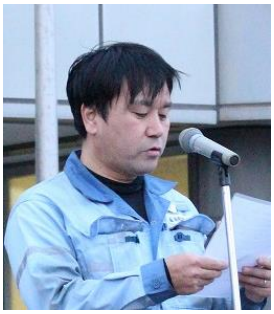
【山本組合長】

去る、3 月 1 日（木）17 時 30 分より組合会館前駐車場において、ＮＳＧＲ加盟組合を含めた約 900 名の方が参加のもと、「ＡＰ18 春季取組み決起集会」を開催しました。

冒頭、山本組合長より「職場組合員が一枚岩となって団結力を高め、新日鐵住金労連をしっかりバックアップし、ＡＰ18 春季取組みを盛り上げるためにもまずは、安全最優先で安定操業に従事していただきたい」と挨拶が述べられ、続いて新日鐵住金労連の持田副会長より「連合会は各単組の皆さんと団結を深め、なんとしてでも今次取組みにおいて成果のある回答を引き出す為にも、皆様のご支援とご協力を願いします」と述べられました。



【持田副会長】



【岩本支部長】

次に、和歌山製鐵所で働く全ての人を代表し、和歌山労組設備管理支部の岩本支部長から「グループ・関係組合を含め和歌山製鐵所で働く全ての人の意思を結集し、職場全体としての盛り上げを図り、新日鐵住金労連ならびにＮＳＧＲとともに、今次交渉へ一丸となって取組んでいく」と今次春季取組みに向けた決意表明が述べられました。

最後に、谷路副組合長の発声によるガンバロウ三唱が行われ、ＡＰ18 春季取組み決起集会を閉会しました。

今次取組みにおいて新日鐵住金労連をバックアップするという観点から、盛り上げが重要となるので各支部の皆様のご協力お願いします。



【ガンバロウ三唱】

☆ＡＰ18 春季取組みキャッチフレーズ最優秀賞☆

『好循環で夢実現　未来へ羽ばたけＡＰ18』

動力支部　田中（タナカ）　優次（ユウジ）さん

※「優秀賞」「佳作」については、組合ホームページに掲載していますのでご参照ください。

各支部からの多くのご応募ありがとうございました！！